

県南25病院「わが街健康プロジェクト。」

PRポスター入賞作決まる

倉敷中央病院（倉敷市美和）を中心に県南25病院が展開している「わが街健康プロジェクト。」のPRポスターコンテストの入賞作が決まり、グランプリに川崎医療福祉大医療福祉デザイン学科2年久富亮さんの作品が選ばれた。



久富亮さん

久富さんの作品は、「つなげよう地域と医療のわ」がキャッチフレーズ。患者や医療従事者、家族など複数の手がロープを握っているイラストを添えた。コンテストは大学生を対象にしており、5回目。県内2大学の学生99人が計100点を応募した。「医療機関と上手に付き合う」をテーマに、メッセージ性などをプロジェクト事務局が審査し、グランプリ1点と優秀賞5点、サポーター賞1点を選んだ。

GPに久富さん（川崎医療福祉大）



グランプリに選ばれた久富さんの作品

め、優秀賞に輝いた県立大2年秦野紗英さんと溝上千加さんの作品計3点を各病院や倉敷市の公共施設などに掲示する予定。

プロジェクトは、急性期から在宅まで切れ目ない医療を提供する「地域完結型医療」を進めようと2013年に始まった。医療や健康に関する市民向けの講演会を開いている。

他の入賞者は次の皆さん。（敬称略）

【優秀賞】中谷阿未（県立大） 瀧下光太郎（同） 小嶋千尋（川崎医療福祉大） 【サポーター賞】太田菜々実（県立大）

（山内悠記子）